

令和5年度事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

第1 概要

令和5年度の畜産をめぐる情勢は、配合飼料価格の高止まりに加え、円安等により輸入粗飼料価格も高騰し、物価高が畜産物の消費・価格に悪影響を及ぼしている中、畜産経営、特に大家畜畜産経営にとっては引き続き大変厳しい状況となった。

そのような中、我が国の畜産業界においては、人材確保や後継者不足、労働環境の改善、アニマルウェルフェアへの対応、家畜衛生対策といった課題が山積し、畜産農家にとってはさらに厳しい経営環境になることが懸念されている。

特に、家畜衛生面では、近隣諸国において口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱、アフリカ豚熱等の悪性伝染病が継続的に発生する中、国内では高病原性鳥インフルエンザが継続発生し、令和6年3月末現在で8県9事例発生し約71.3万羽が殺処分された。一方、平成31年2月に本県においても発生し47農場で約6万5千頭もの豚が殺処分された豚熱については、現在、飼養豚へのワクチン接種が進められ、以降本県での発生はないが、昨年8月には養豚の一大産地である九州でも発生しており引き続き注意が必要である。

また、アフリカ豚熱については、日本から50kmほどしか離れていない韓国釜山で発生が確認されており日本に侵入するリスクが非常に高まっている。これら悪性伝染病の農場への侵入を防ぐため引き続き、より一層の家畜防疫・衛生体制の充実が求められている。

こうした情勢を背景に、国・県においては、畜産関連に大型予算を措置し、TPP等関連対策として畜産クラスター事業をはじめ、担い手に対する重点的な各種施策を推進するとともに、飼料高騰対策に関しても積極的な支援を実施された。

このような状況下、当協会は平成25年度から公益社団法人に移行して11年が経過し、会員団体や関係機関との有機的な連携を図りながら業務を推進している。

特に、公益目的事業1においては、子牛価格が引き続き下落しており、肉用子牛生産者補給金が乳用種に続き黒毛和種でも21年ぶりに交付され、肉用牛肥育経営安定制度においては、今年度も引き続き全品種で発動し多額の補填金を交付した。公益目的事業2においては、畜産収益力強化対策、生産基盤拡大支援、担い手生産者や指導者の育成、家畜衛生面の指導、消費者への理解醸成、公益目的事業3においては、畜産経営体支援、粗飼料高騰対策支援、家畜防疫支援等に取り組み、本県における畜産振興を図った。

第2 会議及び人事関係等

1. 総会

(1) 定時総会 令和5年6月29日(木) (WEBと併用)

大津橋ビル5階大会議室において、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得た。

議事

第1号議案 令和4年度事業報告及び決算の承認に関する件

第2号議案 任期満了に伴う役員改選等に関する件

(2) 臨時総会 令和6年3月26日(火) (WEBと併用)

大津橋ビル5階大会議室において、2項目について報告するとともに、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得た。

議事

報告事項	令和5年度収支予算補正に関する件 令和6年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みに関する件
第1号議案	令和6年度会費徴収に関する件
第2号議案	役員の報酬に関する件
第3号議案	役員の補欠選任に関する件

2. 理事会

(1) 第1回理事会 令和5年6月14日(水) (WEBと併用)

大津橋ビル5階大会議室において、業務の執行に関する議案について審議し、承認を得るとともに1項目について報告した。

議事

第1号議案	令和4年度事業報告及び決算の承認に関する件
第2号議案	任期満了に伴う役員改選に関する件
第3号議案	会社役員賠償責任保険(D&O保険)の契約更改に関する件
第4号議案	寄託金の返還に関する件
第5号議案	肉用牛肥育経営安定制度業務方法書の一部改正に関する件
第6号議案	令和5年度定時総会開催に関する件
報告事項	職務執行状況等について

(2) 第2回理事会 令和5年6月29日(木) (オンラインと併用)

大津橋ビル5階小会議室において、提案された議案について審議し、承認を得た。

議事

第1号議案	代表理事及び業務執行理事等の選定に関する件
-------	-----------------------

(3) 第3回理事会 令和6年3月12日(火) (WEBと併用)

大津橋ビル5階大会議室において、1項目について報告するとともに、業務の執行に関する議案について審議し、承認を得た。

議事

報告事項	職務執行状況に関する件
第1号議案	令和5年度収支予算補正に関する件
第1号議案	令和5年度収支予算補正に関する件
第2号議案	令和6年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みに関する件
第3号議案	令和6年度会費徴収に関する件
第4号議案	令和6年度歳計現金預入先に関する件
第5号議案	令和6年度一時借入金の最高限度額決定に関する件
第6号議案	役員の報酬に関する件
第7号議案	令和6年度予防注射料金に関する件
第8号議案	諸規程の一部改正に関する件
第9号議案	役員の補欠選任に関する件
第10号議案	臨時総会の招集に関する件

3. 監事会

定期監査 令和5年6月6日(火)

大津橋ビル5階小会議室において、令和4年度理事の業務執行状況並びに財産管理状況・決算状況について、監査を受けた。

4. 役員の状況

区 分	年度当初 (R5年4月1日)	役員補選 (R5年6月29日)	増 減		年度末 (R6年3月31日)
			辞 任	就 任	
理 事	9	9	2	2	9
監 事	3	3	2	2	3

5. 会員の状況

年度当初会員数：19会員

年度末会員数：19会員

6. 職員数（令和6年3月31日現在）

職員 10名(出向職員1名<>内) 嘱託職員 1名

区 分	職 員	嘱託職員	計
事務局長	1	—	1
経営安定課	3 <1>	—	3 <1>
畜産振興課	4	1	5
総務管理課	2	—	2
計	10 <1>	1	11 <1>

7. 関係機関等の会議出席状況（県域以上）

年 月 日	場 所	会 議 名 等
R 5. 4. 10	名古屋市	肉用牛生産基盤強化対策事業全国会議
5. 4. 14	東京都	(中央畜産会)第1回中央打合せ会
5. 4. 20	名古屋市	畜産ICT全国事業推進会議 (WEB)
5. 4. 20	名古屋市	畜産課事業説明会
5. 4. 24	東京都	(中央畜産会)第1回検討指導方針検討委員会
5. 4. 26	名古屋市	肉用牛関係事業等に関する情報連絡会議 (WEB)
5. 4. 27~28	名古屋市	畜産特別資金全国推進会議 (WEB)
5. 5. 12	名古屋市	愛知県養鶏協会監査会・理事会
5. 5. 12	名古屋市	愛知のにわとり・タマゴ消費拡大実行委員会解散総会
5. 5. 16	名古屋市	(中央畜産会)国内技術研修(肉用牛飼養標準活用) (WEB)
5. 5. 25	名古屋市	エコ畜事業に係わる全国説明会 (WEB)
5. 6. 2	東京都	中央畜産会第1回理事会(理事長)
5. 6. 6~7	東京都	(中央畜産会)衛生指導部関係全国事業推進会議
5. 6. 9	名古屋市	肉用子牛生産者補給金制度に係る全国説明会 (WEB)
5. 6. 12	名古屋市	愛知県いいともあいち運動推進協議会
5. 6. 12	名古屋市	愛知県養鶏協会総会
5. 6. 13	名古屋市	名古屋コーチン協会総会
5. 6. 19	東京都	中央畜産会定時総会・第2回理事会(理事長)
5. 6. 19	岡崎市	愛知県和牛改良協会通常総会
5. 6. 23	名古屋市	愛知県畜産振興議員連盟設立総会
5. 6. 23	東京都	(中央畜産会)経営分析支援システム研修会
5. 6. 26	名古屋市	みかわ牛銘柄推進協議会総会
5. 6. 27	名古屋市	愛知県農業会議通常総会
5. 7. 6	東京都	畜産クラスター全国推進会議
5. 7. 10~11	新城市	全国肉用牛振興基金協会現地調査
5. 7. 11	名古屋市	愛知県畜産協議会担当者打合会
5. 7. 12	岡崎市	第1回畜産フェスタ打合会議
5. 7. 19	名古屋市	(中央畜産会)第2回経営指導方針検討委員会(WEB)
5. 7. 13~14	東京都	(中央畜産会)新任管理者研修
5. 7. 31	岡崎市	愛知県酪農政治連盟通常総会
5. 8. 17	岡崎市	愛知県死亡牛処理推進協議会
5. 8. 24	名古屋市	愛知県水田農業検討会議
5. 8. 29	岡崎市	特定家畜伝染病県域防疫研修会
5. 8. 30	岡崎市	第2回畜産フェスタ打合会議
5. 8. 31	豊田市	家畜人工授精師協会娘牛調査研修会
5. 9. 1	名古屋市	経営安定補完事業実務研修会 (WEB)
5. 9. 6	三重県	東海ブロック畜産協会連絡協議会
5. 9. 6	名古屋市	自民党県支部連政策懇談会
5. 9. 7~8	福岡県	畜産特別資金ブロック推進会議
5. 9. 8	東京都	(中央畜産会)第2回管理者研修(公益法人運営)
5. 9. 12	名古屋市	和子牛生産者臨時経営支援事業説明会 (WEB)
5. 9. 14	岐阜県	岐阜県家畜伝染病防疫演習
5. 9. 19~20	名古屋市	会計セミナー「実務編」
5. 9. 19	名古屋市	愛知県農林漁業人権問題啓発推進連絡会議
5. 10. 3	名古屋市	(中央畜産会)第3回管理者研修 (WEB) (採用関係)
5. 10. 5	名古屋市	愛知県畜産振興議員連盟総会

年 月 日	場 所	会 議 名 等
5.10.5	名古屋市	愛知県養豚協会定時総会
5.10.13	岡崎市	人権問題の講演と映画の会
5.10.14	岡崎市	畜産フェスタ
5.10.24	三重県	家畜防疫・衛生指導事業東海ブロック会議
5.10.26	名古屋市	地方競馬ミルクウィーク説明会 (WEB)
5.11.2	名古屋市	(中央畜産会) 第4回管理者研修 (WEB) (労務管理)
5.11.5	岡崎市	たまニコ2023愛知大会
5.11.9	弥富市	馬事畜産振興推進会議打合せ
5.11.9~10	福井県	肉用子牛制度に係る北陸・東海・近畿ブロック研修会
5.11.10	東京都	中央畜産会第3回理事会(理事長)
5.11.12	岡崎市	愛知県ホルスタイン共進会
5.11.14	名古屋市	畜産ICT打合会議(WEB)
5.11.15	岡崎市	和牛審査、和牛改良研修会
5.11.20	岡崎市	畜産フェスタ反省会
5.11.28	東京都	(中央畜産会) 第3回経営指導方針検討委員会
5.11.29	名古屋市	全国優良畜産経営管理技術発表会(WEB)
5.12.4	名古屋市	畜産物輸出対応生産円滑化緊急対策事業全国説明会(WEB)
5.12.7	名古屋市	国際養鶏養豚総合展(IPPS)2024出展者説明会
5.12.12	名古屋市	愛知県畜産振興議員連盟知事要請
5.12.13	豊橋市	愛知家畜市場担当者会議
5.12.15	名古屋市	東海ブロック畜産協会連絡協議会打合せ会
5.12.15	名古屋市	優良繁殖雌牛更新加速化事業全国会議(WEB)
5.12.21	弥富市	畜産フェア(名古屋競馬場・愛知県畜産特別競走)
5.12.22	名古屋市	愛知県畜産技術業績発表会
5.12.25	岡崎市	生乳の安全安心愛知県地域協議会
6.1.17	岡崎市	愛知県和牛改良協会第3回役員会
6.1.22	東京都	畜産クラスター事業全国推進会議
6.1.23	名古屋市	国際養鶏養豚総合展(IPPS)2024畜産協会出展ブース打合
6.1.25~26	東京都	肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る事務研修会
6.1.31	東京都	(中央畜産会)家畜防疫互助基金支援事業中央推進会議
6.2.1	名古屋市	肉用牛関係事業等に関する情報連絡会議 (WEB)
6.2.2	東京都	(中央畜産会) 第2回中央打合会(畜産経営指導支援会議)
6.2.5	大阪市	会計セミナー「決算編」
6.2.7~8	東京都	肉用子牛生産者補給金制度等に係る経理研修会
6.2.16	名古屋市	地域養豚生産性向上対策支援事業委員会(WEB)
6.2.19	東京都	(中央畜産会) 第4回経営指導方針検討委員会
6.2.20	名古屋市	愛知県畜産振興議員連盟総会
6.2.22	名古屋市	東海ブロック畜産協会連絡協議会研修会
6.3.1	名古屋市	愛知県畜産振興議員連盟との懇親会
6.3.1	岡崎市	愛知県死亡牛処理推進協議会
6.3.4	新城市	畜産生産力・生産体制強化対策事業に係る検討会・研修会
6.3.12	名古屋市	愛知県養豚協会理事会
6.3.14	弥富市	地方競馬ミルクウィーク(名古屋競馬場)
6.3.15	東京都	中央畜産会第4回理事会(理事長)
6.3.15	名古屋市	愛知県養鶏協会理事会
6.3.22	名古屋市	第2回愛知県いいともあいち運動推進協議会
6.3.27	名古屋市	愛知県農業会議臨時総会
6.3.27	名古屋市	肉用子牛制度、和子牛経営支援事業全国説明会(WEB)
6.3.29	名古屋市	酪農パワーアップ、畜産ICT推進会議(WEB)

第3 事業関係

1. 公益目的事業

(1) 公1 畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補填する事業

牛肉の輸入等に係る状況の変化が、国内肉用牛生産にもたらす影響を緩和するため、肉用子牛の価格が低落した場合や肥育経営の収益性が悪化した場合に補填金等を交付し、肉用牛の再生産が確実に実施されるよう措置した。

ア 肉用子牛生産者補給金制度

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、補給金交付契約を締結した肉用子牛生産者に対して、子牛の平均売買価格が国が定める保証基準価格を下回った場合は(独)農畜産業振興機構から生産者補給金を交付し、合理化目標価格を下回った場合には生産者負担金と県補助金および機構補助金で造成した生産者積立金から生産者補給金を交付することにより、肉用子牛の生産と価格の安定を図り、肉用子牛生産経営の健全な発展を期した。

- ・ 委託団体数 13団体 契約生産者 182者
- ・ 調査指導等 36日 (延べ36団体)
- ・ 令和5年1月～12月 個体登録頭数 5,843頭

- ・ 肉専用種 1,301頭
- ・ 肉専その他 0頭
- ・ 乳用種 1,132頭
- ・ 交雑種 3,410頭

① 生産者補給金交付契約締結状況

契約生産者 182者	内訳：個人経営 137者、組合法人 4者、会社法人 41者
------------	-------------------------------

② 事務委託先

区分	団体名
農協連(1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協(10)	あいち尾東農業協同組合、あいち海部農業協同組合、あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協(1)	愛知県酪農農業協同組合
その他(1)	(一社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③ 生産者積立金造成実績 (R5.1～R5.12)

【生産者積立金単価】登録日：6カ月齢－1日(積立は四半期毎)

(単位：円)

	生産者負担額	県費補助額	機構補助額	計
黒毛和種	400	400	800	1,600
その他肉専用種	4,700	4,700	9,400	18,800
乳用種	1,700	1,700	3,400	6,800
交雑種	800	800	1,600	3,200

・生産者積立金造成実績 (R5.1~R5.12)

(単位:円)

区分	単価 ※	頭数	造成額内訳			合計
			生産者 負担金	県生産者 積立助成金	機構生産者 積立助成金	
黒毛和種	1,600	1,301	420,400	420,400	1,040,800	2,081,600
その他肉専種	18,800	0	0	0	0	0
乳用種	6,800	1,132	1,924,400	1,924,400	3,848,800	7,697,600
交雑種	3,200	3,410	2,728,000	2,728,000	5,456,000	10,912,000
計		5,843	5,172,800	5,172,800	10,345,600	20,691,200

<四半期別平均売買価格>

(単位:円)

区分	黒毛和種	その他肉専	乳用種	交雑種	
保証基準価格	556,000	325,000	164,000	274,000	
合理化目標価格	439,000	256,000	110,000	216,000	
平均売 買価格	第4四半期	613,600	252,300	148,100	308,200
	第1四半期	586,800	※	170,200	304,200
	第2四半期	521,600		196,900	299,600
	第3四半期	522,500		182,900	326,600

※その他肉専の平均売買価格の算定期間は、令和2年度より1年(4月~3月)となった。

・生産者補給金交付実績

区分	令和4年度		令和5年度		
	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	
黒毛和種	頭数	314	210	326	291
	単価	0	0	34,400	33,500
	金額	0	0	11,214,400	9,748,500
乳用種	頭数	253	206	287	330
	単価	15,900	0	0	0
	金額	4,022,700	0	0	0
交雑種	頭数	839	734	904	868
	単価	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0

イ 肉用牛肥育経営安定制度

畜産経営の安定に関する法律に基づく肉用牛の交付金の交付等業務を、農林水産大臣指定の積立金管理者として(独)農畜産業振興機構と連携して実施し、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、制度に参加する肉用牛生産者に対して肉用牛肥育経営に及ぼす影響を緩和するため、機構の肉用牛肥育経営安定交付金(3/4)と生産者積立金からの補填金(1/4)による肉用牛交付金の交付を行った。

- ・委託団体数 11団体 契約生産者数 145者
- ・調査指導等 10日(延べ10団体)
- ・令和5年4月期~令和6年3月期 個体登録頭数18,985頭

〔
・肉専用種 3,667頭
・交雑種 13,590頭
・乳用種 1,728頭

① 生産者補填金交付契約締結者(肉用牛肥育経営安定交付金制度登録生産者)

契約生産者 145者	内訳:個人経営 88者、組合法人 3者、会社法人 54者
------------	------------------------------

② 委託先団体

区分	団体名
農協連(1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協(8)	あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協(1)	愛知県酪農農業協同組合
その他(1)	(一社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③ 肥育安定基金造成実績 (R5.4~R6.3)

【基金造成単価(生産者負担金)】

(単位:頭、円)

区分	令和4年度注		令和5年度		計	積立月 (達する月)
	単価	頭数	単価	頭数		
肉専用種	13,000	2	14,000	3,480	48,746,000	25ヵ月齢
交雑種	19,000	15	17,000	13,427	228,544,000	22ヵ月齢
乳用種	19,000	0	14,000	1,739	24,346,000	18ヵ月齢
計	—	17	—	18,646	301,636,000	—

注 令和4年度2.3月早期販売牛の4.5月積立分

④ 肉用牛交付金の交付実績

・肉用牛交付金交付実績(単位:頭、円)

区分		1月期精算*	R5.2月期	3月期	4月期	5月期
肉専用種	頭数	174	217	205	308	222
	単価	4,901.2	58,258.8	79,360.2	12,860.1	93,140.1
	金額	852,808	12,642,146	16,268,829	3,960,901	20,677,090
交雑種	頭数	987	1,032	1,140	1,157	1,070
	単価	4,645.6	46,034.1	10,440.0	0.0	13,933.8
	金額	4,585,208	47,507,152	11,901,600	0	14,909,124
乳用種	頭数	123	116	133	156	132
	単価	4,592.5	45,992.7	56,792.7	45,047.7	45,099.0
	金額	564,878	5,335,150	7,553,423	7,027,435	5,953,068
計	頭数	1,284	1,365	1,478	1,621	1,424
	うち交付	1,284	1,365	1,478	464	1,424
	金額	6,002,894	65,484,448	35,723,852	10,988,336	41,539,282

区分		6月期	7月期	8月期	9月期	10月期
肉専用種	頭数	225	295	229	217	281
	単価	63,492.3	56,692.8	104,126.4	101,709.9	0.0
	金額	14,285,752	16,724,356	23,844,930	22,071,033	0
交雑種	頭数	1,100	1,144	1,062	1,094	1,186
	単価	45,225.0	45,701.1	56,643.3	53,065.8	51,198.3
	金額	49,747,500	52,282,019	60,155,139	58,053,951	60,721,133
乳用種	頭数	137	168	142	151	152
	単価	32,263.2	37,302.3	32,547.6	0.0	0.0
	金額	4,420,054	6,266,782	4,621,755	0	0
計	頭数	1,462	1,607	1,433	1,462	1,619
	うち交付	1,462	1,607	1,433	1,311	1,186
	金額	68,453,306	75,273,157	88,621,824	80,124,984	60,721,133

区分		11月期	12月期	1月期(概算)	合計
肉 専 種	頭数	406	523	194	3,496 (うち交付 3,215)
	単価	27,324.0	34,192.8	21,745.1	—
	金額	11,093,544	17,882,811	4,218,537	164,522,737
交 雑 種	頭数	1,287	1,358	946	14,563 (うち交付11,102)
	単価	16,210.8	0.0	0.0	—
	金額	20,863,255	0	0	380,726,081
乳 用 種	頭数	149	138	119	1,816 (うち交付1,364)
	単価	0.0	6,732.9	9,112.7	—
	金額	0	929,134	1,084,406	43,756,085
計	頭数	1,842	2,019	1,259	19,875
	うち交付	1,693	661	313	15,681
	金額	31,956,799	18,811,945	5,302,943	589,004,903

R5.1月精算払 → R5年5月交付。2～12月期、R6.1概算払い → R5年4月～R6年3月交付

(2) 公2 畜産経営の安定・向上と畜産の理解醸成に関する事業

国際化の進展や国内産地間競争の激化、畜産生産コストの上昇などで厳しさを増す畜産経営等に対して、経営や技術の改善のための適切な指導や情報提供を実施するとともに、消費者に対しては畜産物への理解醸成を行い、畜産経営等を支援した。

ア 畜産経営体の経営・技術指導に関する事業

- ① 地域畜産支援指導等強化対策（愛知県補助金・地方競馬全国協会補助金・(公社)中央畜産会(委託金・助成金)・図書斡旋収入)
 - ・畜産経営、衛生対策、支援指導などの体制強化、各種アンケート調査、当協会のホームページ更新(最終更新 3/29)。
 - ・県域の家畜登録団体が実施する登録事業を支援(交付決定4/1)
 - ・畜産クラスター事業に関する畜産経営体調査(全国推進事業)等の実施
 - ・経営技術指導の一環として図書の斡旋。
- ② 生産技術情報提供((公社)中央畜産会委託金)

家畜の生産性を向上させるための農家指導を実施し生産基盤の強化を図った。

 - ・家畜の生産性に係るデータの収集・指導：1回 対象：肉牛農家1戸(新城市)
- ③ 畜産特別資金等推進指導 ((公社)中央畜産会補助金)

畜産特別資金借受者の経営改善を図るため、県関係機関・関係団体の協力を得て、経営改善計画の達成に向けた指導を行うとともに、県協議会において、その成果と改善指導方針について検討・協議を行った。

 - ・現地検討会・指導会の実施 田原市 5回(6/1、8/1、9/29、11/30、2/1)
対象：酪農家 1戸(大家畜経営改善支援資金)
 - ・愛知県畜産経営改善推進協議会の開催 1回 令和6年3月21日 名古屋市
- ④ 畜産近代化リース貸付指導 ((公財)畜産近代化リース協会委託金)

畜産経営の合理化のために畜産近代化リース協会の貸付事業で設置された生乳冷却貯蔵施設、搾乳施設等のリース物件について、その管理状況等の確認指導を行うとともに、リース事業の普及啓発用パンフレットを作成・配布した。

 - ・指導の実施 2回(1/24、2/7)
 - ・調査指導件数 11戸12基 (令和6年1、2月)
豊川市2戸、豊橋市4戸、田原市5戸

・普及啓発資料作成 300部

- ⑤ 畜産クラスター機械導入体制強化 ((公社)中央畜産会委託金)
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(畜産クラスター事業)の機械導入事業の県域窓口団体として、全国会議に出席するとともに、事業参加要望書の取りまとめ等を行った。
- ・事業参加承認 8協議会 17件 94,273千円(補助金額)
 - ・現地確認調査 1件(2/7豊橋市)
- ⑥ 畜産経営体生産性向上(畜産ICT)((公社)中央畜産会委託金)
畜産経営体生産性向上対策(畜産ICT)事業の機械装置導入の円滑な実施を図るため、県域窓口団体として事業参加要望の調査や提出書類の点検等を実施し、畜産農家の労働負担軽減・省力化を推進した。
- ・県域窓口団体として要望・申請とりまとめ等
 - ・1応援会議 2件 4,017千円(補助金額)
- ⑦ 酪農パワーアップ(労働省力化)((公社)中央畜産会委託金)
酪農労働省力化施設整備対策事業の機械装置導入及び機械装置と一体的な施設整備の円滑な実施を図るため、事業参加要望の調査を実施したが、労働負担軽減経営体の事業参加はなかった。
- ⑧ 生産基盤拡大加速化(和牛の増頭奨励金)((一社)全国肉用牛振興基金協会委託金)
牛肉の国内需要の増加と輸入拡大に対応するための、畜産クラスター計画に基づく優良繁殖和牛(雌牛)の増頭に対する奨励金交付事業について、県域窓口団体として取りまとめ等を行った。
- ・交付実績:48経営体 145頭 33,452千円
 - ・本事業は6年3月で終了。6年度からは優良繁殖雌牛更新加速化事業が実施される。
- ⑨ 地域畜産支援指導等体制強化((公社)中央畜産会委託金)
- ・県内の畜産に関わる生産者ネットワーク、後継者の連携・組織化等のための意見交換会を開催した。
- 令和6年3月4日:30名 岡崎市
担い手畜産経営研修会
- 講演:「畜産農場における効果的な消毒方法」(講師:(公社)畜産技術協会竹原参与)
- ・生産者及び関係団体からの各種相談、問合せ事項等に応じ、情報の収集分析を行い助言を行った。また、生産者及び畜産関係団体からの各種要望について、県内調整を行い、県・国への要請を行った。
 - ・地方競馬開催の支援促進として、畜産フェスタにおいて、一般来場参加者を対象に、競馬PR資材の配布(マスク・蛍光ペン・パンフレット等)、名古屋競馬の競走DVDを放映し競馬の模擬体験レースを行的中者等に県産畜産物をプレゼントするなど、愛知県畜産特別競走をはじめとした名古屋競馬場開催レースのPRを行った。
- ⑩ 家畜防疫・衛生指導対策((公社)中央畜産会助成金)
家畜伝染病の発生予防、まん延防止等を確実にかつ効率的なものとするため、地域における自衛防疫活動を推進するよう防疫演習や飼養衛生管理基準に基づく防疫対策への取組の徹底、啓発等を行い、地域自衛防疫活動の推進を図った。また、家畜・畜産物の安全性を確保する上で重要な農場HACCP認証の取得推進及び農場HACCP認証に向けた構築指導を推進した。
- 地域自衛防推進
- ・地域自衛防疫取組推進会議:1回(8/29 岡崎市)

- ・ 県域防疫演習 2回
 - a) 令和5年8月29日：161名 岡崎市
 「特定家畜伝染病県域防疫研修会（動員者研修）」
 講演：①特定家畜伝染病の基礎と海外・国内における発生状況（講師：中央家保岩田技師）
 ②防疫体制の基本について（講師：畜産課家畜防疫対策室 加古補佐）
 ③令和4年12月高病原性鳥インフルエンザ発生時における愛知県の対応について（講師：東部家保杉浦課長補佐）
 ④令和4年12月高病原性鳥インフルエンザ発生時における豊橋市の対応について（講師：豊橋市農業支援課渡辺主査）
 - b) 令和5年8月29日：114名 岡崎市
 「特定家畜伝染病県域防疫研修会（防疫部会研修）」
 講演：①特定家畜伝染病の基礎について（講師：中央家保 青木技師）
 ②令和4年12月高病原性鳥インフルエンザ発生時における愛知県の対応について（講師：東部家保杉浦課長補佐）
 ③令和4年12月高病原性鳥インフルエンザ発生時における豊橋市の対応について（講師：豊橋市農業支援課渡辺主査）
- ・ 地域防疫演習 3家保管内25農場：一宮市、清須市、稲沢市、新城市、豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市

○地域農場HACCP認証支援

- ・ 農場HACCP普及推進研修会の開催
 令和5年11月17日：11名 岡崎市
 講師：スキガラファームアシスト 鋤柄幸雄先生
- ・ 認証構築指導 1農場 半田市養鶏農場、2/15認証取得

⑪ 地域養豚生産衛生対策（(公社)中央畜産会助成金）

養豚農場における生産性を著しく阻害する疾病（PRRS）の発生を低減し、まん延を防止させるため、地域自衛防疫組織等に対し、防疫対策等に係る経費の助成を行った。

- ・ 地域推進会議 2回：7/24 岡崎市、3/6岡崎市
- ・ 研修会：11/7田原市
 講演「地域防疫を一步進める」
 講師：アイデアススワインクリニック 早川結子先生
- ・ PRRSモニタリング検査：
 抗体検査2,490検体、遺伝子検査・遺伝子抽出1,342検体、遺伝子解析157検体
- ・ 巡回指導 40農場（田原市）
- ・ 全国委員会 2回：6/26名古屋（WEB会議）、2/16名古屋（WEB会議）

⑫ 愛知県和牛改良協会の事業推進指導（愛知県和牛改良協会委託金）

- ・ 登録業務及び経営指導 5回

⑬ 畜産物輸出対応生産円滑化支援（(一社)日本畜産物輸出促進協会委託金）

畜産物の輸出拡大に向け、輸出に対する生産者の理解醸成や意識向上を図るための普及啓発資料の配布、相談窓口の設置等を実施した。

イ 馬の飼養衛生管理に関する情報提供及び調査

① 馬飼養衛生管理特別対策（(公社)中央畜産会助成金）

乗用馬の飼養衛生管理向上のため、乗用馬関係者を対象に飼養衛生管理技術講習会や馬獣医療実態調査を実施した。

- ・ 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催 1回
 令和5年12月8日 名古屋市13名

- 講演：「令和5年度感染症研究会の報告」
- 講師：西部家畜保健衛生所 沼田主任
- ・馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催 1回
 - 令和5年12月8日 名古屋市30名
 - 講演：「馬の疾病と飼養衛生管理」
 - 講師：日本中央競馬会 栗東トレーニングセンター競走馬研究所 新屋敷直希先生
- ・地域馬獣医療実態調査：58施設

ウ 畜産物に関する理解醸成・情報提供

① 畜産物に関する理解醸成・情報提供（名古屋競馬株式会社寄付金など）

畜産物の生産者と消費者が直接交流する場や、消費者に本県で生産された畜産物に対する理解を深めてもらうため、試食会・啓発資料配布を実施する畜産フェスタや、県内畜産物の品質や安全性に関する啓発により畜産物消費を促進する畜産フェア等の開催を通じて、消費者に対し県内畜産物に関する相談、情報提供や適切なアドバイスを実施した。

（参考） ・畜産フェスタの開催

期 日：令和5年10月14日（土）

開催場所：岡崎市（愛知県畜産総合センター）

来 場 者：約2,000名（昨年約1,800名）

内 容：名古屋競馬の競走DVDを放映し競馬の模擬体験レースを行的中者等に県産畜産物（うずら卵燻製・コーチン肉製品・はちみつ等）をプレゼント。

・畜産フェアの開催（2回）

○ 期 日：令和5年12月21日（木）

開催場所：弥富市（名古屋競馬場）

内容：冠協賛レース（愛知県畜産特別競走）の実施。優勝馬関係者にはみかわ牛を進呈。入場者に県産畜産品（うずら卵燻製、名古屋コーチン肉入カレー、ミルク食パン）等をプレゼント。

○ 期 日：令和6年3月14日（木）

開催場所：弥富市（名古屋競馬場）

内容：地方競馬ミルクウィーク（冠協賛レース及び牛乳乳製品の配布）入場者に県産乳製品（牛乳、ヨーグルト）等をプレゼント。優勝馬関係者には県産乳製品詰合せを進呈。

エ 畜産に関する表彰事業

① 高橋養鶏賞顕彰（高橋養鶏賞顕彰事業基金）

高橋養鶏賞顕彰事業実施要領・顕彰規程及び選考審査基準に基づき、選考委員会で養鶏の振興発展に寄与され、その功績が顕著な者を受賞者として決定し授賞式を行った。

- ・高橋養鶏賞選考委員会 令和5年4月25日
- ・第48回高橋養鶏賞受賞者 半田市 内藤克彦（経営部門）
豊橋市 牧野信一（普及部門）
- ・高橋養鶏賞表彰式 令和5年6月29日

② 家畜品評会等の優秀家畜の表彰（自己資金）

家畜品評会等の優秀者に対し、褒賞を授与した。

- ・3団体催事 賞状3点 副賞7点

(3) 公3 畜産経営支援活動及び家畜防疫を徹底するための経費に対して助成を行う事業

厳しさの増す畜産経営に対して、経営改善のための高能力家畜の導入助成、共同生産活動強化の助成及び家畜伝染病発生時の経営再開助成等の支援により、安定継続できる経営体を支援した。

ア 畜産経営支援に関する事業

① 地域における肉用牛生産基盤強化等対策（(独)農畜産業振興機構補助金）

肉用牛生産基盤の強化や肉用牛生産の振興を図るため、優良な繁殖雌牛の増頭をした地域の中核的担い手生産者に奨励金を交付した。

- ・増頭奨励金交付対象頭数 8頭（JA愛知東4頭、JA豊橋1頭、JAひまわり3頭）

② 畜産経営災害総合対策緊急支援（肉用牛経営災害緊急支援対策）

災害による停電時における家畜の生命維持に要する機械の稼働のための非常用電源の整備に係る助成。

補助対象及び補助額：実施なし

③ 和子牛生産者臨時経営支援事業（(独)農畜産業振興機構補助金）

（肉用子牛生産者の経営悪化に対する緊急対策）

経営改善のための取組を実施している和牛繁殖農家等に対し、ブロック別平均価格が発動基準を下回った場合に、販売頭数に応じた奨励金を交付する事業の県域窓口団体として要望とりまとめ、奨励金の交付等を実施した。

- ・第2四半期に発動、224頭が該当し、16,400円/頭が交付された。
- ・第3四半期に発動、184頭が該当し、16,400円/頭が交付された。
- ・第4四半期においても発動、238頭が該当し、22,000円/頭が交付される。
- ・本事業は6年3月期で終了（第4四半期分は5年度事業を繰越し6年度に交付）。6年度からは優良和子牛生産推進緊急支援事業として実施される。

④ 愛知県粗飼料価格高騰対策支援金（愛知県補助金）

高騰が続いている粗飼料に係る支援金を交付し畜産農家の負担を軽減する事業の肉用牛農家の申請窓口となり、参加申請・交付申請とりまとめ、支援金の交付等を実施した。

- ・対象農家数 145戸
- ・対象期間：令和5年4月～6年3月10日に購入された輸入乾牧草・稲わら
- ・支援金単価：（各四半期輸入粗飼料平均価格－令和3年度輸入粗飼料平均価格）×
1/2×購入数量
- ・交付単価、交付額

第1四半期	乾牧草	10,000.00円、稲わら	102.78円	129戸	21,064,504円
第2四半期	乾牧草	8,704.34円、稲わら	0.00円	127戸	22,274,083円
第3四半期	乾牧草	7,093.79円、稲わら	2,080.11円	127戸	17,389,234円
第4四半期	乾牧草	7,093.79円、稲わら	2,080.11円	128戸	16,204,198円
				計	76,932,019円

- ・本事業の実施期間は、令和4年10月から令和6年3月。

イ 家畜防疫支援に関する事業

① 家畜生産農場清浄化支援対策（農林水産省補助金）

慢性疾病の清浄化対策を推進するための検討会と講習会を開催した。

また、補完的に当協会独自の衛生事業も実施した。

- ・ヨーネ病、EBL、BVD対策検討会の開催
3回（5/23 岡崎市13名、8/18 岡崎市14名、3/13 岡崎市15名）
- ・ヨーネ病、EBL、BVD対策講習会の開催

- 1回 (3/13 岡崎市15名)
- ・ E B L 検査 29農場 1,076頭
- ② 疾病流行防止支援対策 (農林水産省補助金及び手数料)
- アカバネ病等異常産の発生・流行の防止対策を推進するためのワクチン接種による自営防疫と疾病流行防止のための検討会を開催した。
- ・ ワクチン接種技術検討会の開催 2回 (7/28:22部(書面)、3/15:19名、名古屋市)
 - ・ 伝染病予防ワクチン接種状況

合 計	6,342 頭	
		・ 牛異常産三種混合ワクチン 1,198 頭
		・ 牛異常産四種混合ワクチン 1,986 頭
		・ アカバネ病単味ワクチン 3,158 頭
 - ・ 協会独自事業(家畜衛生事業)

予防ワクチン接種事業		
合 計	37,438 頭	
		・ イバラキ病生ワクチン 4,492 頭
		・ 牛五種混合生ワクチン 5,927 頭
		・ 牛五種混合不活化ワクチン 958 頭
		・ 牛六種混合(L) ワクチン 1,074 頭
		・ 牛六種混合(LK) ワクチン 5,104 頭
		・ ボツリヌスワクチン 19,883 頭
- ③ 家畜防疫互助等推進 ((公社)中央畜産会委託金)
- 畜産経営に甚大な影響を及ぼす口蹄疫・CSF等の海外悪性伝染病の発生に対し、事業参加者の生産者積立金と(独)農畜産業振興機構補助金で、(公社)中央畜産会に家畜防疫互助基金を造成するため、加入促進を行った。特に6年度が新たな事業対象期間となるため、新たな事業対象期間に向けた加入促進を行った。

【加入状況】

(R6.3.31現在)

家畜種類	契約戸数(戸)	契約頭数(頭)	生産者積立金(円)
乳用牛	88	11,070	2,438,730
肉用牛	138	30,676	3,276,025
牛 計	181※	41,746	5,714,755
豚	92	244,175	32,376,635
合 計	273	285,921	38,091,390

※乳肉複合経営を1戸カウントしているため戸数計とは相違

【加入率】

(県内飼養: R5.2.1 畜産統計)

	乳用牛		肉用牛		豚	
	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)
県内飼養	220	19,600	323	42,400	138	308,700
契 約	88	11,070	138	30,673	92	244,175
加 入 率	40%	57%	43%	72%	67%	79%

※R3~R5が事業対象期間。この間に廃業した生産者も契約戸数、頭数でカウントしている

④ 海外悪性伝染病対策支援 (自己資金)

海外悪性伝染病が万が一県内で発生した場合、国・県などの補助対象とならない経費に対して支援することとしているが、発生がなかったため、事業執行はなかった。

- ・ 対象家畜: 牛、豚
- ・ 対象疾病: 口蹄疫、牛疫、牛肺疫、ASF

⑤ 馬伝染性疾病防疫強化特別対策（(公社)中央畜産会助成金)

地域における自主防疫活動の強化を図るため、乗用馬・農用馬等を対象とした馬インフルエンザワクチン接種推進及び馬飼養衛生状況の普及啓発等を推進した。

- ・馬ワクチン接種等検討会の開催 2回 (8/3、12/8) 名古屋市 計18名
- ・馬インフルエンザワクチン接種推進 対象施設 19施設、167頭(乗用馬)

2. 収益事業

(1) 収1 事務室等の賃貸

ア 事務室等の賃貸

大津橋ビルの土地・建物について、当協会と一般社団法人大津橋会館が、それぞれ十分の三と十分の七の持ち分（面積比）により大津橋ビル運営委員会を組織するとともに共同管理し、会議室及び事務室の賃貸しを実施した。（事務所入居率 62%）